



山姿無双鶴

行 会
同 松
窓 萬
平 平
佐 伯 鶴 城
伯 鶴 富 松
会 長 編 集
広 報 委 員 会
印 刷
(有) 岡 沢 印 刷

進学実績

詳細は下記の二次元コードへ



※進学実数とは異なります。

令和7年度 国公立合格者

85名

現役184名

- 大分大学医学部 1名
- 九州大学 2名
- 広島大学 3名
- 熊本大学 9名
- 大分大学 25名

松、薫る

「馬場之松復元碑」40年ぶりにきれいに

読んで・見て・知ってみて

高校正門の前に並ぶ馬場の松。その中ほどに建立されている「馬場の松の碑」があります。経年劣化により読みにくくなっていました。

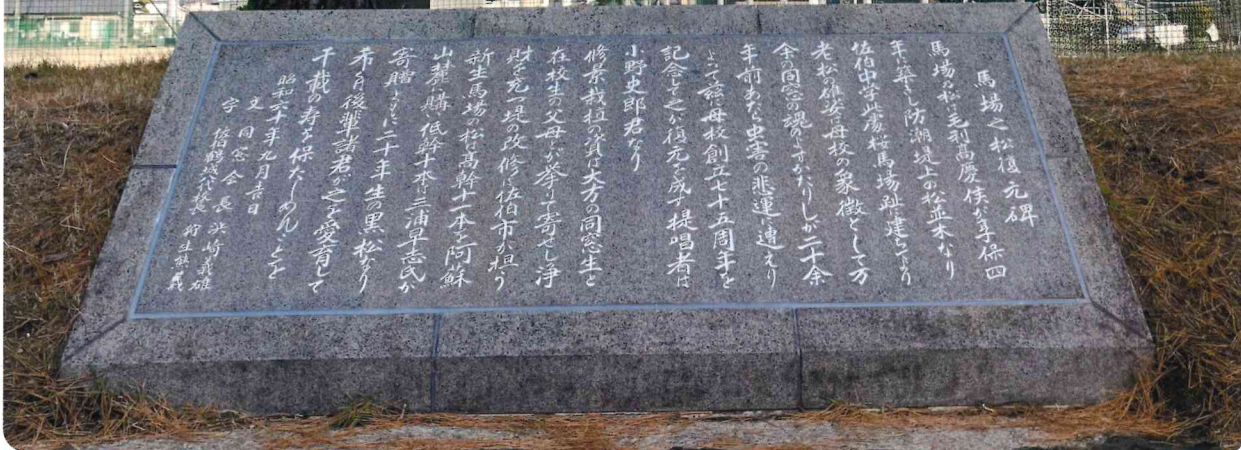
そこで昨年、新たに同窓会会長に就任した富松万平氏（35回生）のよびかけで、経費8万円のうち、2万5千円を同窓会から、残りの5万5千円は、石碑の文を担当した浜崎義雄氏のご子息、浜崎伸二氏（17回生）、字を担当した狩生熊義氏のご子息、狩生雅東氏（10回生）と有志の方々の寄付により、清掃と文字の修繕を行うことができました。

市民の皆様、同窓生の皆様には、近くを通った時にご覧いただけましたら幸いです。

文：元佐伯鶴城同窓会会長 浜崎義雄
字：佐伯鶴城高校第8代校長 狩生熊義



洗浄前の石碑



次代を担う後輩たちの挑戦を後押し

令和の宝石箱

寄付金の使い方(例)

※金額はあくまで予想です。

短期研修・語学留学(自己負担を大幅に軽減)

台湾研修・自己負担 3万円

語学留学(英語圏等): 自己負担 10万円

SSM台湾留學科學研習(約20名)や台湾有大大學留學研習(約10名)が留学費用に比べ大幅に削減しやすく、

台湾語学キャンプ

13.5万円の内(7泊8日・全食費)を自己負担3万円

中島辰夫氏(8回生)より多額の遺贈寄付

この度、同窓生の中島辰夫氏(8回生)のご遺言により、母校と同窓会の発展のため、多大なるご寄付を賜りました。

総会終了後、氏の志を記念した「中島辰夫基金(仮称)」を立ち上げ、具体的な使途についての協議を開始いたします。

同窓会に寄せられた大切な想いと貴重な財産は、次世代の主役である在校生への支援、ならびに母校の教育環境の充実のために責任を持って活用させていただきます。ありがとうございます。



馬場の松

台湾の大学に赴任して三年になる。講義・学生対応・研究・家事。三年はあつという間に過ぎた。

十五歳にとつての三年間は無限の長さを持つ。しかし四十になつても、ま振り返つても、鶴城の三年間は無限であった。今も当時に負けないように生きてるつもりだが、何が違うのか。一つには、やはり三百人超の同級生だろう。何の契約関係もなしに同じ場において、皆が弱い紐帯で結びついている。奇跡の時間だと思ふ。

佐伯のハゲ刺しは美味しい。子供の頃にバクバク食べていたアレが、そこそ高レベルで美味しいものだったと最近気がついた。イタリアにいた頃は餃子が恋しかった。台湾には餃子があるので、今はチーズが恋しい。置かれた環境の真の価値と宿願には、そこを離れて初めて気づくのか。ハゲ刺しは一枚一枚丁寧に食べると当時の自分に言つてやりた

自分のいる環境に文句を言えはきりがない。当時の自分のように、今の鶴城生も色々なことを思っているはずだ。それは確かに保持しながら、他方で今いる一日一日を、まるでハゲ刺しを一枚一枚味わうように過ごして欲しい。三年が過ぎると、君達も卒業するしかないのだから。

岩本祥 (56回生)

第13期生同窓会



福岡同窓会



還暦同窓会



果敢執行

(ためらわずに思い切って物事を行うこと)

同窓会にしてみたらいいことを生徒さんにアンケートをとった結果、意外？当然？ダントツ1位がトイレを洋式に、洗浄式便座も欲しいでした。ただ、県立高校であるため順番待ちとの回答が県の教育委員会よりありました。

そこで寄付ならば構わないと判断、同窓会会長の富松万平氏、副会長の久保田和彦氏が尽力して下さいました。現在まで8基、毎年増やしていきます。



トイレは令和七年度は教室棟6ヶ所、体育館2ヶ所の8基を改修。令和8年度は教室棟3ヶ所、多目的競技場2ヶ所の5基を予定しています。

例年の同窓会入会式と贈呈式



令和7年度の同窓会表彰「百年の風賞」表彰者は
児玉 周哉さん
清水 雄太さん
入会式終了後、校長室にて記念撮影しました。



左から小原総務委員長、児玉さん、清水さん、富松会長

同窓会費はいつでも受け付けています。

◆ 同窓会費はこちらまで

年会費 3,000円

ゆうちょ銀行

【加入者名】 佐伯鶴城同窓会
 【口座番号】 01740-6-47995
 【住所】 〒876-0848 佐伯市城下東町7-1

ただし、終身会費として、下記のような納め方もあります。

終身会費

現在70歳から79歳の方は、20,000円
 現在80歳以上の方は、10,000円

会費は母校のために使わせていただいております。

○ Z会添削指導費全額補助 ○ 休日自主学习を指導する教職員に日当支援 ○ 会報の発行・送付

編集後記

「あとと任せて」この見出しの広報紙を発行して20年、従来の親睦会的なものから母校や生徒のためになるものへと方向が変わった。エアコン設置・土曜講座・百周年行事・中庭の整備、ごく最近では洗浄式便座設置といったものにも。そのためにはお金がいる。会費を一年ごとに頂きそれに当てよう。なんとか周知のことになりつつあり、それに答えてくれる生徒さんたちの進学率。二度の規約改正に、これでもか!!というくらい話し合いを重ねてきた総務委員長、ミスター同窓会こと、木許健氏(23回)の急逝。

会議の時にはいつも隣にいて、兄というより保護者だった存在。あの笑い声と共に、歩み続ける同窓会でありたい。

戸山恵子(25回生)

総会講演者プロフィール

岩本 祥氏

国立中山大學(台湾)
理学院物理学系助理教授



佐伯で生まれ育ち、世界へ羽ばたいた気鋭の研究者。佐伯鶴城高校を卒業。(高56回生)
 東京大学理学部物理学科卒業。同大学院の修士・博士課程を修了。理学博士取得後、世界各国の研究機関で「博士研究員」として最先端の理論研究に従事。
 2013年より東京大学数物連携宇宙機構特別研究員・イスラエル工科大学博士研究員・イタリアパドバ大学博士研究員・エトベツシュ・ローランド大学(ハンガリー) 科学助手を経て2023年より台湾国立中山大學助理教授に就任して現在に至っている。
 専門は素粒子物理学(理論)、宇宙論、暗黒物質、素粒子実験の理論研究をされ、台湾にて全ての物理学講義を英語で行うEMI教育を実践し指導にあたられています。